

写真で見るボランティアセンター 2018年度

ボランティアの魅力や楽しさを伝える



【ミニイベント「やってみよう！」 5/2】



【人間福祉学科入門ゼミナールにて 6/14】

ボランティア活動を広める



【ボランティア説明会】

学習支援や野外活動を行っている外部団体の方などをお招きし、ボランティア説明会を7回開催しました。



【出張ボランティアセンター 6/25・7/4】

ボランティアセンターやボランティアについて「知ってもらいたい！」という思いから、学内でボランティアセンターの紹介を行いました。



学生スタッフ研修 9/12



5月、6月に実施された聖学院大学ボランティア活動支援センター主催「学生サポートメンバー養成講座2018」を4名の学生が受講しました。その学びを他の学生スタッフと共有し、後期の取り組みや学生スタッフの活動意義を考える研修を行いました。

平成30年7月豪雨災害義援金



現地に行けなくても「何かしたい！ できることをやりたい！」という気持ちから、学生スタッフで話し合い、自分たちが今できることとして、有志の学生と共に学内募金を実施し、日本赤十字社へ送金しました。
ありがとうございました！

【実施日時】10月17日、18日、22日、23日、24日、25日、30日、31日（計8日間）

12:20~12:50

【活動場所】7号館1階 エレベーター前

【送付先】日本赤十字社 平成30年7月豪雨災害義援金

【募金総額】31,382円

学内ボランティア団体交流会 12/11・12/14



学内でボランティア活動を行っているソウキリンくらぶ、プラスちゃんくらぶ、Youth Volunteer 部、学生スタッフの代表が初めて集まり、各団体の活動内容について情報交換などを行いました。今後、協力をしながら学内にボランティア活動を広めていきたいということも話し合いました。

クリーン大作戦！（学外清掃）1/10



学生スタッフ、学生有志、職員の計 10 名で大学前の恵山通り（十文字女子大通り）の清掃活動を行いました。

使用済み切手収集

1 月から使用済み切手の収集を始めました。学内に 6 箇所回収箱を設置しています。来年度は切手整理活動を通して学内でのボランティア活動に繋げていきます。



週に 1 度、昼休みにスタッフミーティングを行いました。

その他

情報誌『J ポラ通信』の発行をしました。



学生スタッフ研修 (3/28)

今年度の活動の振り返り・来年度に向けて準備をしました。



私たちが学生スタッフです！



人間発達心理学科 2 年 【学生スタッフになろうと思ったきっかけ】 I さん

ボランティアセンターを訪れて、本格的にボランティア活動をはじめた後、参加したお祭りやイベントなどでは地域の人と協力して盛り上げる楽しさや、安全に楽しむための工夫の難しさや大変さを学ぶことができました。同時に大きなやりがいも感じることができ、もっと色々なボランティアに参加してみたいと思いました。そして、もっと多くの人にボランティアに参加してもらい、やりがいや楽しさを感じてもらいたいと強く思い学生スタッフに加わりました。まだまだ、できることは少ないですが、やってみたいと思うボランティアが実現できるようになったり、他大学と協力したボランティアができるようになったりなど、活発なボランティアセンターにしていけるように他のスタッフと協力しながら、自分も一緒に成長していきたいと思っています。

人間福祉学科 3 年 【2018 年度の活動を振り返って】 R さん

2018 年度、ボランティアセンターではボラセンミニイベントをはじめ、ボランティア説明会、出張ボランティアセンター、募金活動、清掃活動等、学内の学生に向けた活動を中心に行いました。また、他大学との交流や、校内での募金活動を行う等、昨年度よりも、多くの方にボランティアセンターの活動を知ってもらうことができました。それぞれの活動を行うにあたり、「なぜ今その活動を行うのか」ということを念頭に置き、活動の意味や目的、流れ等を学生スタッフ同士で話し合い、実行に向け、それぞれ取り組みました。準備の段階で、一人ひとりが多様な意見を話す一方で、意見がまとまらず、準備が進まないことも度々ありました。しかし、話し合いを重ね、準備に向けて全員が協力して取り組むことができたため、今年度のさまざまな活動につなぐことができました。現在、ボランティアセンターでは、14 名が学生スタッフとして活動をしています。後期には、3 名が新たなスタッフとして加わり、新たな活動に向け準備に取り組んでいます。来年度もミニイベント、他大学との交流、新規スタッフの募集等の他、使用済み切手の回収等、新たな取り組みにも挑戦していく予定です。今後もボランティアセンターの活動を通し、活動の幅を広げ、より多くの学生、教職員、地域の方々にも知らせてもらえたらと思います。